

# 患者さまへのお知らせ・お願い

## 北部病院春季公開講座のお知らせ

- ◆ 日時：5月10日(土) 13:30～16:30
- ◆ 演題 『呼吸器の生活習慣病 ～COPD(肺気腫など)を中心に～』  
講師：呼吸器センター 准教授 鹿間 裕介
- ◆ 演題 『ジェネリック医薬品について』  
講師：病院長 田口 進 薬局長 加藤 和子
- ◆ 応募方法： 往復はがき(〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1 北部病院 春季公開講座係り)  
Eメール(n.kouza@ofc.showa-u.ac.jp)
- ◆ **住所 ・氏名 ・電話番号 ・年齢**を忘れずにご記載の上、ご応募ください。
- ◆ 応募定員：100名(募集期間内に定員に達した場合は、抽選となります)
- ◆ 応募〆切：5月2日(金) 必着  
公開講座に関するお問い合わせ先 昭和大学横浜市北部病院 春季公開講座係り  
電話：045-949-7000(代表)まで

## ロビーコンサートのお知らせ

- ◆ 3月27日(木) 遠藤 美香さん他 (フルート演奏会)
- ◆ 4月 3日(木) 奥山 由紀さん・志織さん (ピアノ演奏会 連弾)
- ◆ 23日(水) 丹羽 千夏さん・茶絵実さん(ピアノ・クラリネット演奏会)

中央棟1階会計前ロビーにて、19:00より開催いたします。30分間の演奏会です。是非、お越しください。コンサート予定表は、各病棟掲示板および会計前ロビーにて掲載しております。曲目につきましては、コンサート当日、会計前ロビーにて掲示いたします。ご確認ください。

# 患者様からのご意見・ご要望

日々患者さまより頂きましたご意見・ご要望に関しては関連する部署の責任者に報告しております。改善すべき点や取り入れたほうが良いことなど出来る限り対応したいと考えております。ご意見の中で特に危険なこと、多くの方が希望していることを優先に対応したいと考えております。もちろん少数意見も対応させて頂いております。前回は引き続き、今までのご意見の中で多くいただいたものや最近よくいただくご意見・ご要望を中心に改善策を掲載させて頂きました。掲載されていない内容についても対応しておりますのでご了承ください。今後もお気付きの点やご要望をお聞かせください。( = 進捗報告)

ご意見・ご要望	改善等
検査基準値リーフレットについて	『血液検査の結果を見ると、平均値が各項目分かれると自分は何だけ高いか低いのか分かりやすいと思います。何度か血液検査を受けることが多いのでよろしくお願ひします。』とのご要望をいただきました。 当院では臨床検査部より、『検査基準値・項目解説一覧表』という2種類のリーフレットを作成し、基準値範囲と検査項目について解説を記載しております。各診療科外来受付、中央処置室受付、総合案内等で配布しておりますので、ご自由にお持ちください。ご自身の検査結果の判断の際、参考にご活用ください。 (血液学系・・・薄いあお色リーフレット 生化学系・・・びわ色リーフレット) また、平成20年4月に内容の改定を行います。旧リーフレット(うぐいす色・コスモス色)をお持ちの方は、新しいものにお持ち替えください。配布場所が不明な際は、受付までお気軽にお声かけください。

## 編集後記

先日春一番が吹き荒れた後も三寒四温の日々で、まだまだ寒いなあ、と思っていましたが、さすがに太陽の日差しがまぶしくなってきました。北部病院はこの春で満7歳を迎えます。開院当初は病棟が一部のみのオープン、外来患者さんもチラホラという感じでしたが、最近は、病棟も外来も常時人が溢れているようで、北部病院も地域に根付いてきたかな、と思える今日この頃です。しかし一方で外来や薬局での待ち時間が長くなり、検査や手術の予約も、一部では2ヶ月くらいになってしまい、患者の皆様に変御迷惑をお掛けしております。

先日区役所のロビーで住民の皆様との交流会を開催させて頂きました。今後一層地域に貢献できるよう、色々な面から努力して参りたいと存じます。

広報委員会 委員 櫻田 博史

北部病院だより 第49号

平成20年3月21日発行

発行責任者 田口 進(昭和大学横浜市北部病院長)

編集責任者 島田 誠(広報委員会 委員長)

発行 昭和大学横浜市北部病院

〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1

電話 045-949-7000(代表)

URL: <http://www10.showa-u.ac.jp/~hokubu/>

北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』が参照できます。

# 北部病院だより 第49号

第49号【2008/3/21 発行】

発行者：昭和大学横浜市北部病院

## 巻頭言

### 「タバコのお話」

内科 准教授 成島道昭

## イベント情報

医療に関わる安全管理のための研修会

## 医師の配属・異動・退職

## 診療統計

## 外来担当表

## 患者さまへのお知らせ・お願い

公開講座のお知らせ  
ロビーコンサートのお知らせ

## 患者様からのご意見・ご要望



春の優しい香りが広がってます。

# 巻頭言

## 「タバコのお話」

内科の成島です。前任地の藤が丘病院から異動してもう1年半ほど経ち、ようやく院内のことも大分わかるようになりました。先日、締め切り間際の巻頭言の原稿がまだいただけていないとのこと。急遽ピンチヒッターを仰せつかりました。何を書こうかと考えていたところ平成6年当時書いた前の病院の院内報の文章が出てきたので、その一部をご紹介したいと思います。

“永六輔氏の「大住生」(岩波書店)がベストセラーになっています。この中には医療関係者を始め、色々な患者さんからの健康や生死に関する考えが川柳や寸言といった形で表現されています。ちょっと失礼して借用させていただくと「待合室 患者同士が診察し」「風邪ひいて卵酒飲む薬剤師」「カロリーを説く保健婦も太りすぎ」といった具合である。健康に関してということで、当然タバコについてのもあります。「喫煙率の一番高い職業は医者と看護婦なんですよ。それなのに病室を禁煙にするなんてね。」

それでは本当に医師の喫煙率が高いかということですが、日本人男性で59.8%、女性で13.8%(平成5年、日本たばこ産業報告)に対し、日本胸部疾患学会員に対するアンケート調査(平成3年)では24.8%という数字が出されています。喘息や肺癌などを取り扱う学会員でこの数字が高いか低いかの意見は別にして、とりあえず医師の喫煙率は一般人よりもそう高くないはなさそうです。そうは言っても米国(10%)、英国(13%)などの医師喫煙率と比べれば、素直に喜んでばかりはいられません。さらに驚くべきことに、日本人男性の喫煙率は30年前と比べ20%も低下してきているのに対し、女性では特に20~30代の喫煙率はむしろ増加傾向にあります。出産や子育てに関わる年代の女性

性が、です。タバコがすべての仇役にされがちな風潮にはいささか閉口しますが、いわゆるタバコ病(もちろん代表格は肺癌)に含まれる数多くの疾患を持つ患者さんが、毎日多数この病院を訪れている訳です。それ故、我々医療関係者は禁煙に対する認識を今まで以上に持つ必要があるのではないのでしょうか。

折しも、医療用禁煙補助剤としてニコチンガムが平成6年7月より全国で使われ始めています。WHOが世界禁煙デー(毎年5月31日)を提唱したのは1988年でまだ日も浅く、未だ一般に認知されていないと思います。日本でも1992年に禁煙週間(毎年世界禁煙デーから1週間)なるものを制定し、やっと重い腰を上げ始めました。そうは言っても我が国ではタバコの税収には目を向けても、その数倍が医療費となって出て行くことには意外と無頓着のようです。しかし今年のWHOの報告によれば、先進国では1分間に約6人がタバコが原因のがんで死亡しているという衝撃的な発表がなされています。また発癌だけの問題ではありません。私の研修時代お世話になった国立がんセンターの前内視鏡部長の池田茂人先生は45歳までに禁煙しなさいと患者さんたちに指導されていましたが、決してご自身がその歳からタバコを止められたということからだけではないようです。ヒトの呼吸機能は25歳位をピークに次第に低下していくものですが、喫煙者はその低下するカーブがより急峻なのです。しかし、40歳半ばまでに禁煙に成功した者はこの経年的低下曲線が緩やかになり、呼吸困難を感じることなく一生を全うできることとなります。いわゆる肺気腫から呼吸不全への移行が阻止できた訳です。

我々日本人はタバコが健康に良くないとわかっていても、具体的にどれほどの害があるのか意外と知らされていません。夜11時以降にテレビのチャンネルをひねれば、タバコのコマーシャルのオンパレードです。禁煙運動が遅々として進まないのは、そんなところにも原因があるのかもしれない。せめて病院の中の間はタバコを吸わないという働きかけを進めていかなければと思います。対象は？もちろんここに勤めているあなたです。そうでなければ、また永六輔氏に皮肉を込めた一筆を書かれてしまいそうだから。

院内禁煙などなかった今から15年も前の話ですが、今に通じることはかなりあります。また、この間に喫煙に関する取り組みは随分進みました。喫煙率の低下、敷地内禁煙の普及、リセット禁煙など禁煙法の開発、禁煙補助薬の進化(年内には内服薬が発売されるとのこと)等々。この4月から始まる特定健診に合わせて当院でも禁煙外来をやっていく必要がありそうです。では誰が？また自分で自分の首を絞めそうです。

# 北部イベント

## 医療に関わる安全管理のための研修会

2月18日(月)～21日(木)まで、医療に係る安全管理のための職員研修を実施しました。『人工呼吸器装着患者への対応～その時困らないために～』というテーマで、講義1時間・実地訓練1時間というプログラムで行いました。安全な医療を行うために、人工呼吸器を装着している患者に起こりうる状況への緊急対応スキルを修得することを目的として企画しました。職種を限定せずに参加希望者を募集したため、医師・研修医・看護師をはじめとし、普段人工呼吸器に扱い慣れていないスタッフから、更に人工呼吸器について理解を深めたいスタッフまで様々な職種、経験年数も1年目の新人スタッフから10年以上のベテランスタッフと様々なスタッフが参加しました。

まずは講義からスタート。IMI株式会社人工呼吸器取り扱い研修担当の専門スタッフの方より、人工呼吸器に関する基本的な仕組みの説明や操作方法、よく鳴りやすいアラームへの対処方法の講義を受けました。その後は、シミュレータ(人工呼吸器を装着した生態モデル)での演習(実地訓練)です。2～3人の小グループに別れ、『人工呼吸器のアラームが鳴っています。講義を活かし、適切に処置してください。』とアラームの原因を判断し、探し出し実際に対処をする(吸引・挿管等)訓練を行いました。1つのケースが終了した後、対処方法を振り返り、参加者全員で事例を共有する時間を設けました。またすべてのグループが異なるアラーム解除のケースにトライしたため、見学していても収穫のある研修会となりました。

講義と実地訓練を同日に開催するという研修会は初めての試みでしたが、講義にて得た知識を頭の中でイメージするのみではなく、それを実際に行動に移すことで、参加者には収穫の多い、より実践的な研修会となりました。

また、実地訓練後には、ME室臨床工学技士の協力を得て、当院で実際に使用している人工呼吸器を会場に運んでもらい、技士の視点での呼吸器回路の点検方法やその時のポイント、今日の訓練で疑問に思ったこと、再確認したいことなどを、実際に機械に触れて説明を受ける機会となりました。

勤務状況等によって、参加できなかったスタッフへの貸出用に、もう一度訓練を復習したいスタッフのために、医療安全のための教材として活用できるよう、各日も実地訓練の様子をビデオに録画を行いました。

医療安全管理室では、今後もこのような職種を問わず、頭の中でイメージしたことを実際に行動へ移す研修会を企画し、北部病院に来られる患者さまに安心していただけるよう、職員のスキルアップと医療の質の向上を目指して取り組んでいきます。



実地訓練風景



人工呼吸器説明風景

## 医師の配属・異動・退職

### 新規配属医師

3/1付【2/1～3/1】

【新規採用】

橋本 徳 (麻酔科)  
岡山大学  
平成5年卒

### 異動・退職医師

3/1付【1/31～3/1】

【長期出張】

小谷 美帆子 (産婦人科)  
菅原 草 (泌尿器科)  
清河 翠 (産婦人科)

【退職】

請川 淳一 (消化器センター)  
斉藤 理恵 (呼吸器センター)

## 診療統計

2007年12月・2008年1月統計データ( )内は1日平均

診療実日数 入院・・・31日(両月) 外来・・・23日(両月)

	外来患者数	入院患者数	救急搬送数	手術件数
12月	32,988人(1,434.3人)	17,657人(569.6人)	410件(13.2件)	505件(26.6件)
1月	31,489人(1,369.1人)	16,715人(539.2人)	348件(11.2件)	459件(24.2件)

## 外来担当表

外来予定は都合により変更する場合がございますのでご了承ください。  
平成20年3月1日改訂

	月		火		水		木		金		土
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前
呼吸器センター	佐藤庸子(初診)	鹿間裕介(再診)	中島宏昭(紹介初診)		神尾義人(初診)	鹿間裕介(再診)	鹿間裕介(初診)	笠原慶太(初診)	北見・澁谷(初診)	医局員(初診)	医局員(初診)
	鹿間裕介(初)	笠原慶太(再)	笠原慶太(初)	中島宏昭(再)	鹿間裕介(初)	北見明彦(再)		神尾義人(再)	中島宏昭(再)	中島宏昭(再)	
	北見明彦(再)		鹿間裕介(再)						笠原慶太(再)	佐藤庸子(再)	
消化器センター	医局員	大塚和朗	田中淳一	辰川貴志子(1.3)	請川淳一	請川淳一	里館 均	里館 均	大塚和朗	大塚和朗	医局員
	齋藤由理	出口義雄	井上晴洋	井上晴洋	児玉健太	児玉健太	長山裕之	池原伸直	医局員	春日井尚	木田裕之
	乾 正幸	乾 正幸	榎田博史	榎田博史	医局員	遠藤俊吾	池原伸直	医局員	細谷寿久	細谷寿久	
	山村冬彦	山村冬彦	工藤進英	近藤純史	日高英二	医局員	宮地英行	山村冬彦	遠藤俊吾		
					石田文生	辰川貴志子(2.4)	榎田博史	工藤進英(特診)			
					岩下芳彰(2)						
循環器センター	磯村直栄		落合正彦		小原千明		荒木 浩		芦田和博		医局員
		黒子洋介(血管外科)	斉藤重男	星本剛一		石野幸三(心臓外科)	藤倉寿利	御子柴幸	上村 茂(先天性心疾患)	西巻博(第3)	
	伊藤篤志(心臓血管外科)	星本剛一	上村 茂(先天性心疾患)	山邊陽子(先天性心疾患)	伊藤篤志(心臓血管外科)		富田 英(先天性心疾患)		伊藤篤志(心臓血管外科)		伊藤篤志(心臓血管外科)
メンタルケア(初)	工藤行夫(精神全般統合失調症)		伊川太郎	伊川太郎	堀 宏治(物忘れ初診)	堀 宏治	西岡玄太郎		吉益晴夫		青山 洋
メンタルケア(再)	板垣太郎	板垣太郎	富岡 大	富岡 大	西岡玄太郎	西岡玄太郎	吉益晴夫	吉益晴夫	工藤行夫		堀 宏治
メンタルケア(再)		青木麻梨	青木麻梨	青木麻梨	内田充彦	内田充彦	黒澤頭三	黒澤頭三	青山 洋	青山 洋	常岡俊昭
			医局員		伊川太郎	伊川太郎	医局員				常岡俊昭
内科(22-5)		高橋 健(内科腎臓)									
内科(23-2)	吉田典世(内科)	山本真寛(内科)	中澤あい(内科)	吉田典世(内科)	菊嶋修示(循環器不整脈)	菊嶋修示(循環器不整脈)	中澤あい(内科)	内田奈名子(内科)	菊嶋修示(循環器不整脈)		菊嶋修示(循環器不整脈)
内科(23-3)	衣笠えり子(内科腎臓)	福井俊哉(記憶認知)	内田奈名子(内科)	内田奈名子(内科)	衣笠えり子(内科腎臓)	衣笠えり子(内科腎臓)	坂下暁子(内科血液)	坂下暁子(内科血液)	山本真寛(内科)	川崎仁志(内科神経)	医局員
内科(23-5)	坂下暁子(内科血液)	坂下暁子(内科血液)	福井俊哉(内科神経)	福井俊哉(内科神経)	三代川童雄(内科消化器)	三代川童雄(内科消化器)	福井俊哉(内科神経)	福井俊哉(内科神経)	福井俊哉(内科神経)		三代川童雄(内科消化器)
内科(25-1)	菊池雷太(内科神経)		斉藤佑介(内科)	中山文義(腎第1火休診)	菊池雷太(内科神経)			滝西安隆(内科)			大野恭史(内科)
内科(25-2)		井上 稔(内分分泌)	溝渕正英(内科腎臓)		木村 聡(内科・感染症)						医局員
内科(25-3)	田口 進(内科消化器)	小林功治(内科)			溝渕正英(内科腎臓)	小林功治(内科)	田口 進(内科消化器)				渡渕浩之(1.3内科)
内科(25-5)	荻原 徹(糖尿病・内分泌)		嶋田 顕(内科腫瘍)		荻原 徹(糖尿病・内分泌)		嶋田 顕(内科腫瘍)	嶋田 顕(内科腫瘍)	荻原 徹(糖尿病・内分泌)	富田高重(第1内科消化器)	荻原 徹(糖尿病・内分泌)
内科(25-6)	竹島亜希子(内科)	伊東友弘(内科腫瘍)		大野恭史(内科)	女性専門外来(予約のみ)	伊東友弘(内科腫瘍)	緒方浩頭(内科腎臓)	成鳥道昭(内科)	伊東友弘(第4休診内科腫瘍)		緒方浩頭(内科腎臓)
内科(25-7)		成鳥道昭(内科)	辻 正富(糖尿病・内分泌)	辻 正富(糖尿病・内分泌)	伊藤英利(内科腎臓)	竹島亜希子(内科)	辻 正富(糖尿病・内分泌)	辻 正富(糖尿病・内分泌)	伊藤英利(内科腎臓)		辻 正富(糖尿病・内分泌)
小児科	野中善治	神経外来	梅田 陽	乳児検診	北澤重孝	心臓外来	野中善治	成育外来	梅田 陽	乳児検診	医局員
小児科	曾我恭司	予防接種	曾我恭司	フォアアップ外来	梅田 陽	心臓外来(1.3,4)	曾我恭司	アルル-外来	松岡 孝	フォアアップ外来	医局員
小児科	北澤重孝		野中善治	血液内科(4)心理相談	京田学是		井上真理	口腔発達(2,3)心理相談	京田学是	上村茂(心臓)	医局員
小児外科		杉山彰英		大橋祐介		五味 明		大橋祐介		杉山彰英	杉山彰英(奇)医局員(偶)
皮膚科(初16-3)	保坂浩臣		宋 寅傑				三井湖麻江		宋 寅傑		医局員
皮膚科(再16-1)	宋 寅傑										光線療法外来
皮膚科(再16-2)		外科手術	三井湖麻江	外来手術	医局員	外科手術	医局員	外来手術			外来手術
皮膚科(再16-2)	三井湖麻江		保坂浩臣		三井湖麻江		保坂浩臣		保坂浩臣		
外科	桜澤/中村(第3以外)	中村明央	桜澤由博	杉本啓一(3)	新井一成		新井一成	井関雅一(偶)岩波正英(3)	中村明央	岩波正英(第2,4)	中村明央(奇)新井一成(偶)
外科	桜澤由博(3)		福成信博		山崎智巳		桜澤由博	兼坂 茂(予約のみ)	福成信博	中村明央	桜澤由博(奇)山崎智巳(偶)
外科	福成信博(1.2,4初)								桜澤由博		
形成外科	大塚尚治	美容外科ヒ-リック			【手術日】		大塚尚治		手術日		高木信介
緩和ケア(麻酔科)(22-6)		岡本健一郎(事前予約制)					岡本健一郎(事前予約制)				岡本健一郎(事前予約制)
脳神経外科(初再診)	池田尚人(診断書外来)		【手術日】		池田尚人(退院後外来)		小林信介		池田尚人		小林信介池田尚人(偶)
脳神経外科	小林信介								予 診		池田尚人(奇)
整形外科	医局員(初診外来)	医局員	西山嘉信	医局員	逸見範幸	医局員	西山嘉信	医局員/古根(2,4)	逸見範幸	医局員	医局員
整形外科	上原大志	キブス診予約のみ	三雲 仁		清家直人	キブス診予約のみ	三雲 仁		藤田将勝		医局員
整形外科	川崎恵吉		大下優介		藤田将勝		川崎恵吉		大下優介		
産婦人科(初診12-7)	佐々木康(奇)近藤哲郎(偶)		高橋 諱		高橋 諱		小川公一(医局員(奇))		小川公一		医局員
産婦人科(産科12-1)	吉江正紀		小川公一		栗城亜具里		佐々木康		近藤哲郎		
産婦人科(産科12-6)					小山壽美江		斉藤佳実				特殊診予約のみ
産婦人科(産科12-8)	小川公一		栗城亜具里	特殊診予約のみ	佐々木康		高橋 諱		斉藤佳実		特殊診予約のみ
産婦人科(産科12-6)			近藤哲郎		吉江正紀				小山壽美江		
泌尿器科(初診11-1)	椎木一彦	椎木(検査)予約のみ	青木慶一郎		初診代診	深澤(再診)予約のみ	井上克己	佐藤直也(奇)鈴木俊一(偶)	島田 誠		医局員(初再診)
泌尿器科(再診11-3)	島田 誠	島田(女性外来)予約のみ	再診代診		青木慶一郎		椎木一彦		井上克己		丸山邦隆(予約のみ)
泌尿器科(検査11-5)		特殊検査予約のみ							特殊検査予約のみ		
眼科	井上吐州	特殊診(井上)	小池正直	特殊診(荻野)	井上吐州		小池正直	特殊診(小池)	井上吐州		小池正直(奇)荻野 大(偶)
眼科	荻野 大		荻野 大	フォアアップ(小倉)	小倉寛嗣		小倉寛嗣	特殊診(小倉)	荻野 大	特殊診(荻野)	小池寛嗣(奇)嶋田撰也(偶)
眼科	嶋田撰也	特殊診(嶋田)	嶋田撰也		嶋田撰也		嶋田撰也	特殊診(嶋田)	小倉寛嗣		小倉寛嗣(偶)
耳鼻咽喉科13-1	門倉義幸(初診)	腫瘍甲状腺外来予約のみ	医局員(紹介初診)		医局員(初診)		山田良宣(初診)	いびき外来予約のみ	医局員(初診)		医局員(初診)
耳鼻咽喉科13-2	山田良宣(再診)	許 芳行予約のみ					門倉義幸(再)	門倉義幸(再)予約のみ			
耳鼻咽喉科13-3	野垣岳稔(再診)						石田 良(再)				
耳鼻咽喉科13-3							補聴器外来K予約のみ		補聴器外来N予約のみ		

京都府済生会の外來日、月火不登： 聴覚聴一医師です。 リハビリ科外來日、火曜日午後： 真野実時医師です。 奇=奇数週 偶=偶数週 数字=診察日数